



長く使っても飽きない上質な家具

# インテリア飛驒(有)

昭和48年5月に創業し、来年50周年を迎える「インテリア飛驒(有)」さん。品質の良さで評判です。社長の奥様でもある店長の前田妙子さんにお話を伺ってきました。

取材・編集/大下



この50年、色々な方に助けていただきここまで来ました。お客様にも恵まれ、いい商品にも出会えました。

## 【創業当時は・・・】

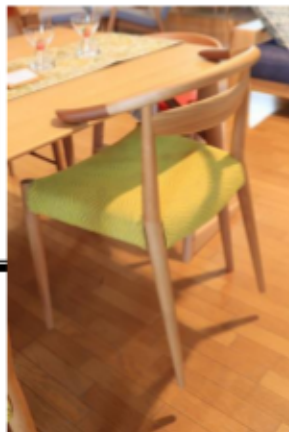
元々は社長も店長も家具店で働いていたのですが、独立して現在の松保町に店を構えました。飛驒高山の家具は丈夫で質の良いものだったので、店名も“飛驒”に決定。周南団地ができた頃はカーテンや絨毯をトラックに積み込んで販売に行ったそうです。当時はまだブラインドを使われる家庭も少なく、トラック一杯の商品がすぐ完売するくらい需要があったそうです。

## 【高品質な家具を！】

「インテリア飛驒」で扱う家具は全て飛驒高山からの仕入れです。なぜなら、無垢の木を使っているのもありますが、丈夫でとても上質だから。最近ではデザインも洗練され、常連のお客様から「インテリア飛驒の家具は信用できるので、実物を見ずカタログだけで購入しても安心」と言っていたりとか。さらにお客様に安心していただくため、家具は全て10年保証です。10年過ぎてメンテナンス、修理が可能です。6月に飛驒高山家具の展示会を開催します。飛驒高山のお菓子や漬物も並びます。是非足を運んでみて下さい。



おしゃれで線がきれいな北欧スタイルの日進木工さんの家具を扱っているのは県内ではインテリア飛驒だけです。椅子の丈夫さと座り心地では日本一です。



## ■DATA

- 【住所】周南市辻町6-11
- 【営業時間】10:00~18:30
- 【定休日】毎月第1日曜日
- 【TEL】0834-32-0807
- 【駐車場】有
- 【HP】i-hida.jp
- 【FB】facebook.com/interior.hida

## 【ギャッベ (GABBEH) って何?】

絨毯はギャッベ(毛足の長い絨毯)を10年以上前から扱っています。インテリア飛驒に置いてあるのは、世界文化遺産でもあるイランのカシュガイ族によって織られたものです。使うほどに風合いが良くなり、手触りも柔らかくなります。夏はサラッと、冬は暖かく、長く使えば他のギャッベとの違いがはっきり分かります。

毎年2月と9月に「アートギャッベ展」を開催。店内全てギャッベの絨毯になりますよ！



## 【お部屋のトータルコーディネート!】

カーテンは上質な京都の川島織物です。人気の高い英国のデザイナーWilliam Morris(ウィリアム・モリス)のデザインカーテンもあります。インテリアのトータルコーディネートも承っています。家具やカーテンだけでなく、内装やクロス張り、照明、雑貨小物など、一般家庭から店舗まで幅広く手掛けています。もちろんオーダー家具もあります。

いつでもお気軽にご相談下さい。

椅子を机に引っ掛けられるので、お掃除の時にとても便利！しかも軽いので人気があるそうです！

ウィリアム・モリスの有名なデザイン「いちご泥棒」。泥棒は“ツグミ”という小鳥だそうです。

